

静岡県議会議員

山崎しんのすけ 通信

浜松市と静岡県を結ぶ!! 若きカジュアル政治マガジン

vol.23

2021年1月発行



3つの視点で

新型コロナウイルス対策を万全に!

十選択と集中で持続可能な静岡県を。



昨年11月から、新型コロナウイルス

感染症の第3波が猛威を振るい、本県においても静岡市や浜松市をはじめ各地でクラスターが発生し、陽性者数が爆発的に増加しました。感染された方やそのご家族、また飲食店や医療福祉施設等の皆様には心からお願い申し上げます。一日も早い快復と事業再開をお祈り致します。

この間、とりわけ10月までは、我が会派「ふじのくに県民クラブ」通算13回に及



ぶ知事・教育長への要望活動が奏功し、左表のような成果を上げることができました。しかし、コロナとの戦いが新たな段階に突入した今、「感染症対策(ヘルス)」と「経済対策(ウェルス)」に加え、「人権尊重(カインドネス)」を大前提とした3つの視点で新型コロナウイルス対策に万全を期していく必要があります。

インフルエンザ等、他の感染症も心配な冬季ですから、医療崩壊を防ぐために徹底した感染症対策は当然行なっていかなければなりません。ただ、経済を動かさなければ(例えば失業率と自殺者数に相關関係があるように)、それによる犠牲者も出てしまいますから、お金が地域で循環するような経済活動は奨励することが大切です。でもその分、PCR検査等を迅速確実に実施できる体制を整え、重症者を増やさないこと。また適切

主な提言内容と実現した成果	
提言内容	成果
「いつでも・誰でも・何度でも」可能とするPCR等検査体制の充実を要望。	当初はわずか72件だったが、11月時点で1日最大2,400件に増加。さらに12月補正予算で14,500件まで大幅拡充。
休業要請に合わせた県独自の協力金の支給を提言。	感染拡大防止にご協力頂いた遊興施設等に対する協力金制度を作り、2回にわたって支給を実施。
県内経済を刺激するための県産品購入等の促進を提言。	地産地消「バイ・サイズオカ」や「バイ・ふじのくに」で需要を喚起。
SNSやLINEを活用した「プッシュ型」広報の展開を提案。	LINEアカウントの新設に加え、8月には「ひとり親あんしんLINE相談窓口」も開設
中小企業者等の事業継続を支える資金繰りの大幅拡大を要望。	段階的に拡充が行われ、県制度融資枠は1兆4,534億円にまで到達。
差別や偏見のない社会構築のため、県民を巻き込んだキャンペーンの展開を提言。	「STOP! 誹謗中傷」キャンペーンが立ち上がり、動画配信などが実施中。

な自衛行動ができるように情報は正確に発信すること。そして、新型コロナウイルスに感染しても非難しない、助け合える社会を構築していくこと。このトライアングルを、いかに高いレベルで強固なものに出来るかが問われている。今、目下の危機を一刻も早く切り抜けるため、引き続き全力で議会・政治活動に邁進して参ります!

また、こうした対策を行うには財源が必要ですが、景気の落ち込みが反映される来年度以降の税収は非常に厳しい見込みです。そこで我が会派で



は、「事業見直し集中ヒアリング」を4日間にわたって実施しました。これは、一つの事業を徹底的に審査することで、ムダの削減や事業改善による効率・効果UPを図り、どうしても必要な事業に予算を投入できるようにすることが目的。いわゆる選択と集中です。

40本近くの事業を精査した結果、「規模の縮小や予算の削減を求める事業」を8本、「より一層の改善と幅広い政策的議論を求める事業」を9本抽出し、12月16日には川勝知事に来年度予算要望を提出するに併せて、事業見直しの実施も強く迫ったところです。

コロナ禍でも持続可能な自治体運営を行うため、これからも政調会長として責任ある行動に努めていきたいと思っています。

事業見直しを求めた事業の具体例(抜粋)

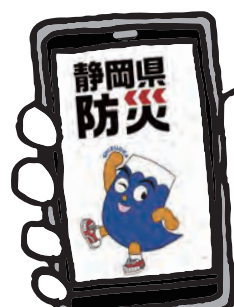
- ・各種イベントの実施方法などの見直し
- ・公用車の削減と民間サービスとの連携
- ・駿河湾フェリーの県民とのあり方
- ・未収債権管理の一元化
- ・企業誘致関係施策の戦略的統合
- ・TOKAIO(耐震補強)の発展的見直し
- ・地域外交戦略のメリハリ化



県が開発したアプリを使って「デジタル防災MAPづくり」を実施!

皆さんは、静岡県が開発したアプリ「静岡県防災」をご存知ですか?これは、災害時の情報をタイムリーにお知らせすることはもちろんのこと、避難所の位置やハザードマップ、避難トレーニングなどの機能が盛り込まれた総合防災アプリで、現在10万ダウンロードを超えています。そしてこの度、防災モニター機能が新たに付加されることで、私が会長を務める中学校のPTAが主催となって、「東中デジタル防災MAPづくり」事業を実施しました。

今までも、校区の地図を広げて防災MAPを作成する等の取り組みはありましたがこの事業では協力企業からレンタルしたスマートフォンやタブレット等いわゆるデジタル機器を活用。それらにアプリをダウンロードし、グループに分かれた生徒たちが学校周辺の危険箇所の写真と簡単なコメントを直接アプリに入力していくという手順で進めていきました。少し不安に思っていた機器の扱いも、デジタルネイティブの中学生にとっては心配無用だったようで、次々とデジタルMAP上にマークが打たれていきました。



度以降にも応用できること。平時にいかんアプリを使ってもうかが大きな課題となっていただけに、こうした防災教育への積極的な活用は今後のモデルケースになるのではないのでしょうか。もちろん、地図を作った終わりではありません。見えてきた課題を整理し、それを解決するためにはどうすべきなのかを考え、地域を巻き込んで行動することまでが一連のプロセスです。地域の防災力向上のためにも、せっかく県費で作られたアプリは、とことん活用していきたいですね!



もしものために今! インストールから始めよう!



Google Playはこちら



App Storeはこちら



ハイブリッド方式に
初挑戦!

「政経セミナー2020」を
開催しました。



去る11月17日、グランドホテル
浜松の鳳中の間において「山崎
しんのすけ政経セミナー20
20」を開催しました。新型コロナ
の影響で開催自体が危ぶ
まれましたが、徹底した感染
防止対策を施すとともに、来
場に不安を感じられる方のた
めにオンライン視聴も可能に
する、いわゆるハイブリッド方
式を採用し、無事盛況のうちに
幕を閉じることができました。
今回のセミナーでは、鈴木康友
市長のご挨拶のほか、東京工
業大学特
命教授・名
誉教授の柏
木孝夫様と
東京都eス
ポーツ連合
会長の寛誠
一郎様を講
師としてご
招待。国内でも屈指のエネル
ギーの専門家である柏木先生
から「オンラインでの講演」は、
政府が本格的に脱炭素社会へ
と歩み始めた中で、再生可能
エネルギーの宝庫である浜松
の優位性と可能性を大いに
語って頂き大変勉強になりま
した。また、寛様からはZ世代
への最も優れたアプローチ方
法としてのeスポーツの潜在



能力の高さ、そして地方創生
へと繋がる様々なアイデア等
を分かりやすく講演頂き、多
くの参加者から参考になった
との声を頂戴することができ
ました。コロナ禍であっても全
国どこからでもオンラインで
瞬時に繋がり、コロナ禍だか
らこそ拝聴の価値あるお話が
多くの皆さまと共有できる。
この貴重な経験を糧に、今後
も新しい取り組みに積極的に
取り組むことを新たに決意し
たところです。



いくタイミングは今しかあり
ません。
私は今年度、会派の政調会
長として3つの部会(「環境・
SDGs」「女性・若者」「多文
化共生」)を立ち上げました
が、それらに対する思いは、と
にかく地域内で経済を回す、
生きたお金を循環させるこ
と。そのための武器となるの
が、エネルギーであり、デジタ
ルであり、サークキュラーエコノ
ミーであり、そしてそれを動か
していくのが、若者、女性、外
国人という方々です。これらを
上手く融合、マッチングするこ
とで、県内のいたるところでイノ
ベーションを巻き起こしてい
く。元気で持続可能な地域を後
世に渡していくために、これか
らも全力で駆け抜けて参りま
す。引き続き、忌憚のないご意
見をお待ちしております!



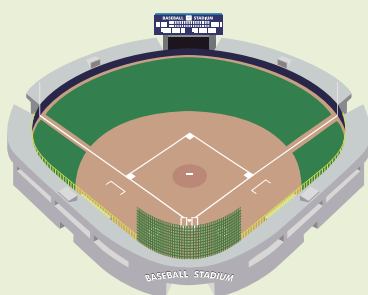
最高の秋晴れに恵まれた11
月15日、コロナ禍で延期してい
た「浜松市沿岸域防潮堤竣工工
式」が関係各位のご臨席の中、
厳かに執り行われました。振り
返れば、2011年の東日本大
震災直後からこの構想は動き
始め、2012年6月に静岡県
と浜松市、一条工務店において
3者基本合意が締結。ここか
ら約8年の年月がかりまし
たが、私たちの命と財産を守
る、全国にも誇れる素晴らしい
防潮堤が完成したのです。

直す「総点検」を
行うためにスケ
ジュールが後ろに
ズレ込むこと
に...しかし、地
元住民や経済界、
野球をはじめと
するスポーツ関係
者からの整備を
願う声は全くブ
れることなく、
私はそれに応える

きることが主に見込まれる減
災効果となります。最終的に
は、来年度から設計に入る馬
込川の水門ができれば完全な
完成となりますが、現時点で
も相当な浜松沿岸域の守備力
向上に寄与したことは間違い
ありません。
そしてここからは、守りから
攻めへ!つまりは、遠州灘海浜
公園篠原地区における野球場
を軸とした総合公園の整備を
進めるステージへと移っていく
こととなります。

「総点検」の重要な5つのポイント

- ①基本構想は何ら変わらない。
- ②規模の縮小は考えていない。
- ③アフターコロナ対応の機能を付加する。
- ④民間資金の活用等で事業費を抑制する。
- ⑤来年度には基本計画を策定する。



ためにも、10月の建設委員会
で「総点検」の真意を正面から
質しました。そのポイントは左
記の通りですが、つまりは確実
に進めるということ。コロナ
禍で確かに延期はせざるを得
ませんでした。でも、このア
イドリング期間を十分に生か
すことで、より経済的な、より
魅力的な公園が見えてくるこ
とと思っています。

私は、長年この構想に誰より
も熱く関わってきました。2年
前、基本計画策定予算を可決
させたのは、他でもない建設委
員長だった私です。ピーチ・マ
リンススポーツの聖地を作ろう
としている浜松市とも強く連
携し、アフターコロナにおける
地域活性化を沿岸域から促進
する。その先頭となつて動い
ていく所存です。今後とも、応援
をお願い致します!

Pick Up
**インターンで政治を
体感してみませんか?**

大学生の時に、議員インターンシップを経験し
たことが、私の政治を志した原点でした。百聞
は一見に如かず。百見は一試に如かず。一緒に
政治の現場で活動してみませんか?新しい
発見が、きっとあなたを待っています。議員イン
ターンに興味のある方、そうした経験をお子さ
んに積ませてみたい方、まずはご一報をお寄
せください!

山崎しんのすけ事務所

〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21
TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
<http://www.shin-sk.net/>

山崎しんのすけ 検索



この度、LINE公式アカウント
を開設しました!
月に2回程度、身近な県政の
情報をお届けしますので、
是非ご登録をお願いします^^

山崎真之輔 プロフィール

- 39歳三児の父親
- 浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- 元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- 浜松市議会議員(2期6年間) ■静岡県議会議員(3期目)
- 所属会派:ふじのくに県民クラブ(政策調査会長)
- 所属委員会:建設委員会
情報通信技術利活用特別委員会 副委員長
- 役職:一般社団法人静岡県eスポーツ連合 顧問
浜松市立東部中学校同窓会 会長
公益社団法人浜松青年会議所 副理事長
浜松市空手道連盟 顧問
- 趣味/スポーツ全般、日本舞踊(花柳流)
読書、カラオケ、ボードゲーム
eスポーツ

